

## 訓練実施施設が抱える運営上の課題を基に、質向上を目的とした講習『求職者支援訓練サポート講習』の実施

### 訓練実施施設の抱える主な課題

- 受講者の就職に結びつく効果的な就職支援やキャリア・コンサルティングの方法が知りたい。
- 受講者の習得度や訓練効果を一層高める方法はないか。
- 訓練運営に携わる人材（責任者、事務担当者、苦情を処理する者、就職支援責任者）の確保や育成に悩んでいる。
- 就職意欲の少ない受講者への対応をどうするか。
- 受講者からの苦情や要望への対応スキルを強化したい。
- 精神障害・発達障害と思われる受講者への対応に苦慮している。

### 平成25年度

#### 講習テーマ

- ① ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングの進め方
- ② 受講者のタイプや特徴に応じた支援と対応
- ③ 求職者訓練における適切な個人情報の管理とは
- ④ どう実施する？職業能力基礎講習
- ⑤ クラス運営のポイント

#### 実施センター

**全国8ブロックの指定する職業訓練支援センターで実施**

➡ 宮城、東京、富山、愛知、大阪、広島、香川、福岡

#### 訓練実施施設からの寄せられた意見（例）

- 実践に即した具体例を多く紹介していただいたので、早速活用してみたい。
- テーマに沿った話し合いの場が持てたので、実践的な方法を見つけることができた。
- 今後も色々な講座を実施して欲しい。



実績

実施回数40回、受講者数884名

### 平成26年度

#### 講習テーマ

- ① ジョブ・カードを活用したキャリア・コンサルティングの進め方
- ② 受講者のタイプや特徴に応じた支援と対応
- ③ 求職者訓練における適切な個人情報の管理とは
- ④ ケーススタディで学ぶ就職支援（H26新規テーマ）
- ⑤ 受講者対応スキルの向上について（H26新規テーマ）
- ⑥ 精神障害・発達障害の特徴と対応について（H26新規テーマ）

#### 実施センター

**全国47の職業訓練支援センターで実施中**

- ・ 新規テーマは8ブロックの指定する職業訓練支援センターで実施。
- ・ 継続テーマは全国の職業訓練支援センターで実施。

計画

回数62回、定員1,179名

全国展開



## ポリテクセンター等と業界団体等との連携協定の推進

国の基幹産業であるものづくり産業が持続的な発展を続けるためにはその産業の集積地域における人材の育成が不可欠である。このため、ポリテクセンター等を運営する（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構とものづくり業界団体等の全国レベルにおける連携協定を推進し、産業界の人材育成ニーズをより一層的確に把握し、ポリテクセンター等の職業訓練コースの設定等に反映する。【平成26年8月25日に（一社）日本機械工業連合会と連携協定締結】

### 【具体策】

- ①ポリテクセンター等を運営する（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構とものづくり業界団体等との間で**連携協定を締結**し、
- ②連携協定に基づき、ポリテクセンター等とものづくり業界団体等は、**業界ニーズを踏まえた離職者訓練や在職者訓練等の訓練カリキュラムの開発等や企業実習先の調整などを実施**

ものづくり業界団体等

連携協定締結

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構  
（ポリテクセンター等を運営）



人材育成の  
基盤構築

### 【連携内容例】

- 業界の訓練ニーズを把握、情報提供
- 訓練カリキュラム・教材開発への意見
- 在職者訓練の実施に係る支援
- 生産現場の熟練技能者を講師として派遣
- デュアルシステム訓練等の実習先確保への協力
- 職業訓練修了生の採用促進
- 周知・広報 etc

### 【連携内容例】

- 能力開発施設が把握する訓練ニーズの情報提供
- 訓練カリキュラム・教材に関する専門知識の提供
- 共同・受託研究の実施
- 業界ニーズを踏まえた職業能力、職業訓練を体系化した人材育成プランの作成
- 業界ニーズを踏まえた在職者訓練の実施
- 業界ニーズを踏まえた離職者、学卒者訓練の実施
- 周知・広報 etc